

別紙

■仲谷 善雄 立命館大学長のコメント

立命館大学は、ロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、学業や研究活動を継続することが困難となった大学生および大学院生を、受け入れることを決定いたしました。

本学は、1900年に創設以来、建学の精神を「自由と清新」、教学理念を「平和と民主主義」とし、世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献するという教育・研究機関としての根源的な使命と役割を明示し、行動してきました。キャンパスには、2,600人を超える外国人留学生が学んでおり、国境、文化、言葉、価値観の垣根を超えた真の国際人材を育成する、ダイバーシティに富んだ環境を整えています。

日々刻々と状況が変わるウクライナでは、多くの学生が大学で学べる環境にはありません。本学は、そのような学生たちを一人でも多く支援し、学業と研究活動を継続できる環境を提供いたします。



■出口 治明 立命館アジア太平洋大学長のコメント

「自由・平和・ヒューマニズム」を開学宣言に掲げ、世界中から多様なバックグラウンドをもつ学生が集まり学びあう立命館アジア太平洋大学にとって、戦争によって多くの若者の学びの機会が失われてしまっていることをとても悲しく思っています。

ウクライナの未来を担う学生の皆さんに、できる限りの支援をさせて頂きたいと思います。

APU2030ビジョンでは「APUで学んだ人が世界を変える」としています。私たちはこれからも紛争や戦争のない平和な未来を実現することを目指して、人材育成に努めていきたいと思っています。

世界に平和な一日が、一刻も早く訪れることを心から祈っています。



【本学園のウクライナ避難民の方々への支援活動】

■ウクライナ避難民の方々を支援するための募金活動

立命館学園の教職員、学生・生徒・児童、校友、保護者、一般の方々を対象とした募金活動を、3月18日～4月30日の期間、大学HPを活用して実施。集まった募金はUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を通じてウクライナ避難民の方々にお届けします。

■ウクライナ避難民の受け入れにかかわる支援協力

ウクライナ避難民の方々を受け入れるにあたり、自治体等とも連携して、大学として可能な支援協力(国際寮など住居提供、日本語学習のサポート、交流プログラムの提供など)を行います。